

平成29年度 施策評価シート

基本目標	V	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	510	コミュニティの輪を広げ、協働によるまちをつくる
施策	511	地域や多様なコミュニティを支える人材・団体を育てる
施策の目標	若者から高齢者までの多くの区民が、町会・自治会をはじめ多様な主体の活動に参加し、地域の課題解決に向けみずから話しあい、行動する自律型地域社会の一員として、区民や団体、企業などと区が協働する、「地域力日本一」のまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「過去1年間に地域の行事や社会活動に参加した」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					46.0%					50.0%
実績	38.0%									
指標名	町会・自治会加入世帯数									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					98,300					100,500
実績	95,375									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
「地域力日本一」のまちを実現するためには、協働の担い手となる人材や団体の育成、さまざまな主体の連携・ネットワーク化を図る仕組みが必要である。平成27年度に行った基本計画策定に向けた社会調査において、「過去1年間に地域の行事や社会活動に参加した人」の割合は20歳代や30歳代の若年層が低い傾向にあり、若年層の参加を促進する新たな施策展開が求められている。	H28	4,900
	H29	
	H30	

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	地域の課題を区民自らが解決するためには、その地域における団体の連携、ネットワークが重要である。重層的に社会関係資本の構築を図ることが、協治・ガバナンスによるまちづくりの要となる。

4 今後の施策の運営方針

評価	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
多様な主体が、地域の課題解決に向けた連携、ネットワークを組み、地域コミュニティや地域活動に参加できる仕組みを構築する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
健康活動や環境改善運動などに参加する誘因を図る地域ポイント制度を検証し、その成果を効果測定する。成果が検証できれば、積極的に資源投入を図り、重層的な社会関係資本の構築を目指す。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標		直近の評価内容
				年度目標値	推移	評価結果
				年度実績値		評価対象年度
1	地域ポイント制度の導入検討(ヘルス&マナーコミュニティ墨田の推進)	4,900	ポイントの付与対象を健康活動や環境保全活動など幅広い区民が参加しやすいものとし、これまで地域コミュニティや地域の活動に縁遠かった方も参加しやすいようなきっかけづくりをする。このような活動を通じて、地域の課題解決に取り組んでいくことのできる人材・団体の育成につなげていく。	-		改善・見直し(効果測定)
				-		平成28年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

平成29年度 事務事業評価シート

施 策	511	地域や多様なコミュニティを支える人材・団体を育てる	部内優先順位						
事務事業	地域ポイント制度の導入検討（ヘルス＆マナーコミュニティ墨田の推進）						1		
事業概要	地域力を高めるコミュニティとひとづくりを進めるため、①区民一人ひとりの積極的な健康づくり②環境保全・省エネルギー活動③社会貢献活動・地域活動への参加などを促す新たな仕組みとして、地域ポイント制度の導入について調査・研究する。平成31年度の本格実施をめざし、平成29・30年度に実証事業を行う。						主管課・係（担当）		
							政策担当		
							03-5608-6231		
施策への 関連性	ポイントの付与対象を健康活動や環境保全活動など幅広い区民が参加しやすいものとし、これまで地域コミュニティや地域の活動に縁遠かった方も参加しやすいようなきっかけづくりをする。このような活動を通じ、地域の課題解決に取り組んでいくことのできる人材・団体の育成につなげていく。								
必要性・ 妥当性	区民のニーズ								
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）								
	民間事業者のポイント制度とは異なり、対象活動やインセンティブが地域の元気や活性化に資することが求められるため、区が主体となる必要がある。一方、持続的な制度運営のためには、区内事業者等にも参画してもらえらる運用体制の構築が求められる。								
有効性・ 適格性	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実証事業の参加者数				単 位	人	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
		300	30	目 標	-	200	300	-	
				実 績	-	-	-	-	
				H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目 標	-	-	-	-	-	-	
		実 績	-	-	-	-	-	-	
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	実証事業の参加者数により、より政策効果の高い制度設計につなげることができる。平成31年度以降の指標及び目標値については、実証事業の検証結果を踏まえ、より最適なものを設定する。								
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	-				単 位	-	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
		-	-	目 標	-	-	-	-	
				実 績	-	-	-	-	
				H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目 標	-	-	-	-	-	-	
実 績		-	-	-	-	-	-		
指標の選定理由及び目標値の理由									
制度構築に向けた調査・検討であるため、平成29・30年度の実証事業の検証結果を踏まえ、最適な指標の選定及び制度設計を行っていく。									
財 政 面 (決算額) (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34		
	4,900	7,500							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕平成28・29年度の内訳は調査検討費であるが、制度化した際の必要経費と政策的効果を見極めていく必要がある。					

1 必要性・妥当性					
区民ニーズの有無	ある				
代替可能性の有無	ない				
区が実施すべき強い理由があるか	ある				
判断理由					
これまで地域の活動に縁遠かった人も参加しやすい制度とすることにより区民の参加を高め、健康づくりやコミュニティの形成など施策目標の達成を目指すものであるため。					
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしていない				
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある				
判断理由					
検討段階であるため、有効性・適格を見極めながら、制度設計を行っていく。また、直接的には、健康づくり、環境配慮などの各事業の目的に合致するものである。		必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果
		5	4	3	3
3 効率性・経済性		効果測定及び改善・見直しの上継続			
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない				
実工程やコストに改善の余地がないか	未検討				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある				
判断理由					
すでにあるエコポイントや、別途実施する健康ウォークにインセンティブを与える事業である。					
中間・最終年度の講評	健康ポイント、実証実験の参加者が増加しており、利用者の満足も高いことから、有効な施策と考える。今後、事業効果を更に検証しつつ、制度設計を図っていく。				
今後の方向性	現在、事業化に向けて実証実験を行っており、その結果を踏まえて、制度化を行う。				